

科目名	課題数学	科目コード	50100
-----	------	-------	-------

学科名・学年	全学科・1年
担当教員	涌田和芳（M1担当） 長谷川健一（E1、Ci1担当） 山田章（Ec1担当） 岩瀬誠一（Mb1担当）
区分・単位数	必履修・1単位
開講時期・時間数	通年，30時間【内訳：講義0，演習30，実験0，その他0】
教科書	斎藤斉ほか著、新訂基礎数学、大日本図書
補助教材	斎藤斉ほか著、新訂基礎数学問題集、大日本図書
参考書	

### 【A．科目の概要と関連性】

「基礎数学A」、「基礎数学B」で学習した内容の演習を行う。

### 【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の（C）と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
式の計算について習熟する。(特に、分数式の計算)	-	c 1
基本的な方程式と不等式の解法を習得する。	-	c 1
2次関数・分数関数・無理関数の性質を理解する。	-	c 1
指数関数・対数関数・三角関数の性質を理解する。	-	c 1
座標平面上の幾何の初歩的な内容を理解する。	-	c 1

### 【C．履修上の注意】

演習はこの授業時間だけでは十分ではない。家や寮においても予習・復習をすること。

### 【D．評価方法】

定期試験は行わない。小テスト、レポートのほか、授業に取り組む態度（発言、質問回数等）で評価する。50点以上を合格とする。

【E . 授業計画・内容】

前期

回	内容	備考
1	整式の加法・減法・乗法	
2	因数分解	
3	整式の除法、因数定理	
4	分数式の計算	
5	実数、平方根、複素数	
6	2次方程式、解と係数の関係	
7	総合演習	
8	いろいろな方程式	
9	恒等式、等式の証明	
10	不等式の性質、1次不等式	
11	いろいろな不等式、不等式の証明	
12	集合、命題	
13	関数とグラフ、2次関数のグラフ	
14	2次関数の最大・最小	
-		
15	発展演習	

後期

回	内容	備考
1	2次関数と2次方程式、2次不等式、べき関数	
2	分数関数・無理関数、逆関数	
3	累乗根、指数の拡張	
4	指数関数、対数	
5	対数関数、常用対数	
6	三角比	
7	総合演習	
8	三角形への応用	
9	一般角、三角関数	
10	弧度法、三角関数の性質	
11	三角関数のグラフ	
12	加法定理、加法定理の応用	
13	2点間の距離と分点、直線の方程式、2直線の関係	
14	総合演習	
-		
15	発展演習	